

総務協議会協議事項

日時	令和8年10月21日(水)
	午前10時
場所	第一委員会室

○ 所管事項の報告について

- 1 中小企業なりわい再建被災資産復旧事業補助金の3次募集について
- 2 委託先が使用しているシステムへの不正アクセスについて
- 3 第8次八戸市行財政改革大綱の進行管理について
- 4 委託先システムへの第三者による不正アクセスについて

中小企業なりわい再建被災資産復旧事業補助金の3次募集について

1 事業の趣旨

昨年12月に発生した青森県東方沖地震等により被災した中小企業者の早期の事業再建を図るため、県の支援を受けながら実施している中小企業なりわい再建被災資産復旧事業補助金について、補助対象者の範囲を拡充し、予算の範囲内で同補助金の3次募集を行うもの。

2 制度概要

項目	1次募集	2次募集	3次募集
対象となる地震	青森県東方沖地震(12月)	同左並びに三陸沖地震(4月)及び岩手県沖地震(6月)【拡充】	同左
補助対象者	事業用の施設又は設備に被害を受けた市内の中小企業者	同左	対象業種(農林水産、医療、社会福祉、私立学校)を営む中小企業者等【拡充】
補助対象経費	事業再開のために不可欠な事業用の施設又は設備の復旧に要する経費	同左	同左
補助率	3分の2	同左	同左
補助上限額	500万円	1,000万円【拡充】	同左
募集期間	2月27日～5月29日	8月7日～9月30日	10月30日～11月30日

※ 3次募集においても、これまで同様、従業員等の法人の規模等により中小企業者の要件を満たさず、補助の対象とならない場合がある。

3 予算額及び申請状況

予算額 838,000千円(うち県670,400千円、市167,600千円) ※9月補正後

申請額 約696,000千円(9月30日、2次募集終了時点)

残 額 約142,000千円(//)

委託先が使用しているシステムへの不正アクセスについて

委託先が使用しているシステムへの不正アクセスに伴う影響により、八戸産学官連携推進会議（事務局：当市）主催のイベント「Kanaeru KOSEI－八戸とつながる同窓会 in 東京」参加者の個人情報流出のおそれがあることが判明したものの。

1 発生経緯・現時点の状況等

- ・八戸産学官連携推進会議主催のイベント「Kanaeru KOSEI－八戸とつながる同窓会 in 東京」について、あおもり創生パートナーズ株式会社に委託して開催準備を進めていたところ、参加申込み受付のために委託先が使用していた Web 制作サービス「Studio」のクラウド環境への第三者による不正アクセスにより、Kanaeru KOSEI の申込フォーム送信データ 49 件（対象者 49 人）が外部から取得可能な状態となったおそれがある。
- ・不正アクセスの確認期間は R8/9/30～10/1、第三者がデータを取得できる状態は 10/14 まで継続。Studio 社が事態を公表したのは 10/16。
- ・実際の第三者取得は未確認であるものの、Studio 社では取得されたものとして対応中。脆弱性・侵入経路は対応済み。
- ・本イベントが Studio を利用したものであると、委託先より連絡を受け、市では 10/19 に状況を確認した。

2 流出が懸念される情報

- ・参加者が申込フォームに入力した情報（氏名・メールアドレス、出身校、性別、居住している都道府県、年齢帯、現在の仕事の業種など）。
- ・現時点で第三者による実取得は確認されていない。

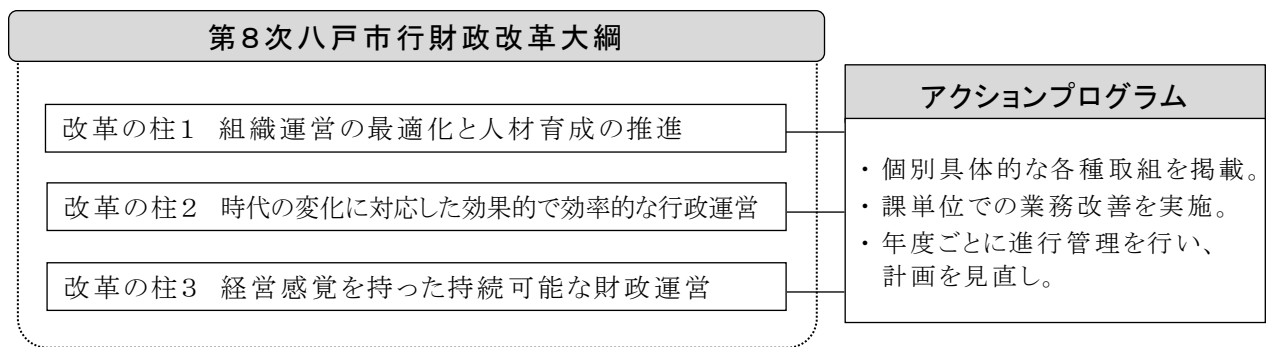
3 対応状況

- ・10/20 付けで参加者 49 名に対し、委託先よりお詫びと注意喚起を行った。

第8次八戸市行財政改革大綱の進行管理について

1 第8次八戸市行財政改革大綱の概要

- (1) 基本理念 効果的・効率的な行政運営と持続可能な財政運営の確立
～『変革への挑戦』と『未来への責任』～
- (2) 推進期間 令和7年度から令和11年度までの5年間
- (3) 注指標 行財政改革に取り組む上で注目すべき3つの指標を設定。
①定員管理（正職員） ②基金残高 ③財政健全化指標
- (4) 体系



(5) 改革3本柱及び推進項目別の取組数

柱	推進項目	令和7年度取組数 〔（ ）内は再掲の取組数〕	
柱1 組織運営の最適化と 人材育成の推進	(1) 組織力の向上	12	53(4)
	(2) 人材育成（能力向上）	12(4)	
	(3) スマートなワークスタイルの推進	23	
	(4) リスク管理の徹底	6	
柱2 時代の変化に対応した 効果的で効率的な行政運営	(1) DX推進等による市民サービスの質の向上	26	60
	(2) 庁内BPRの推進	8	
	(3) 事務事業の総合的な見直しの推進	18	
	(4) 多様な主体との協働・連携	8	
柱3 経営感覚を持った 持続可能な財政運営	(1) 健全な財政運営の推進	3	26
	(2) 歳入の確保・強化	12	
	(3) 財産の適正管理と有効活用	11	
合計		139(4)	

※再掲を除いた実取組数は 135 件

2 大綱に掲げる指標の結果

(1) 3つの注目指標

指 標		令和7年度	(参考)6年度
職員数※ (定員適正化計画)	(R12.4.1 現在) 1,376 人以下	(R8.4.1 現在) 1,392 人	(R7.4.1 現在) 1,383 人
		(1,403 人)	(1,397 人)
基金残高	R11 年度末に 50 億円維持	54.1 億円	60.7 億円
財政健全化指標	(各年度末)		
実質公債費比率	12%以下	9.1%	9.2%
将来負担比率	120%以下	103.1%	99.7%

※市民病院・交通部を除く一般行政等の職員数

ポイント

- ✓ 職員数は、適正な定員管理に努めた結果、計画を下回る1,392人となっております。
- ✓ 基金残高は54.1億円と、独自に定めた基準をクリアしました。
- ✓ 財政健全化指標については、実質公債費比率は9.1%、将来負担比率は103.1%となり、いずれも独自に定めた基準をクリアしました。

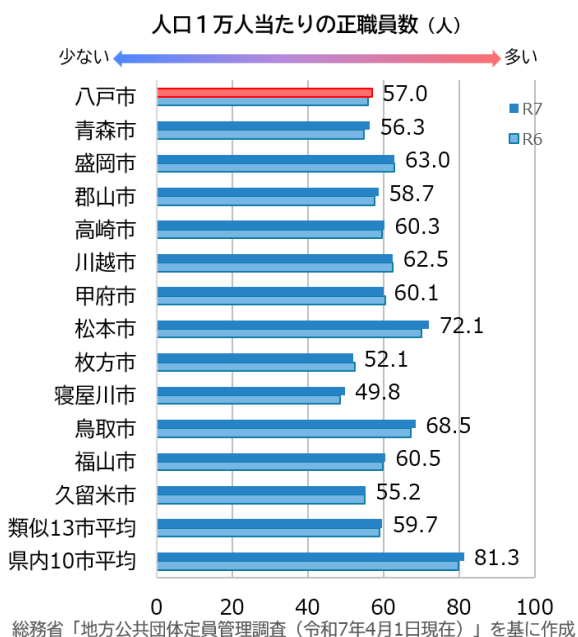
(2) 5つの関連指標

市の現在地を確認するため、当市を含んだ類似性の高い 13 都市を独自の類似団体として抽出し、5つの指標において比較しています。

指標 1 人口 1 万人当たりの正職員数

【八戸市】 5 位 57.0 人(前年度: 5 位 55.9 人)

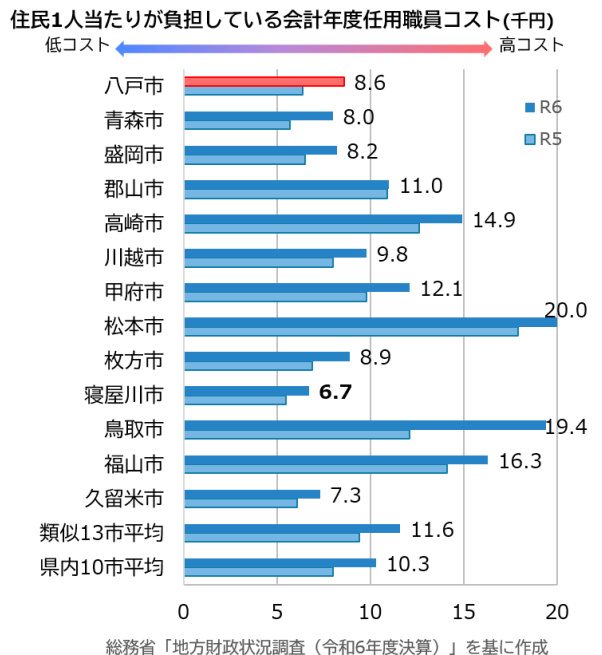
(1 位 寝屋川市 49.8 人) 職員数が少ない
(13 位 松本市 72.1 人) 職員数が多い



指標 2 住民 1 人当たりが負担している会計年度任用職員コスト

【八戸市】 5 位 8.6 千円(前年度: 4 位 6.4 千円)

(1 位 寝屋川市 6.7 千円) 低コスト
(13 位 松本市 20.0 千円) 高コスト

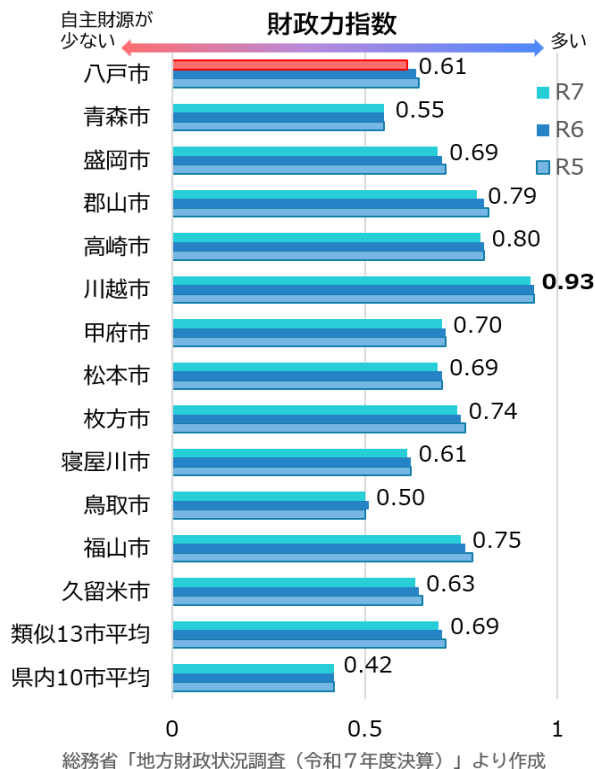


指標 3 財政力指数

【八戸市】 10 位 0.61 (前年度:10 位 0.63)

(1 位 川越市 0.93) 自主財源が多い

(13 位 鳥取市 0.50) 自主財源が少ない

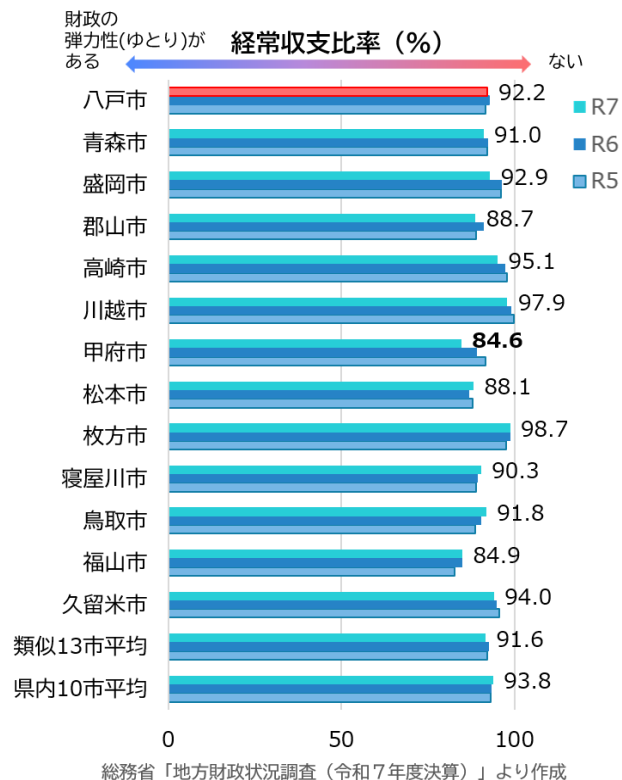


指標 4 経常収支比率

【八戸市】 8 位 92.2% (前年度:6 位 92.7%)

(1 位 甲府市 84.6%) 財政の弾力性(ゆとり)がある

(13 位 枚方市 98.7%) 財政の弾力性(ゆとり)がない

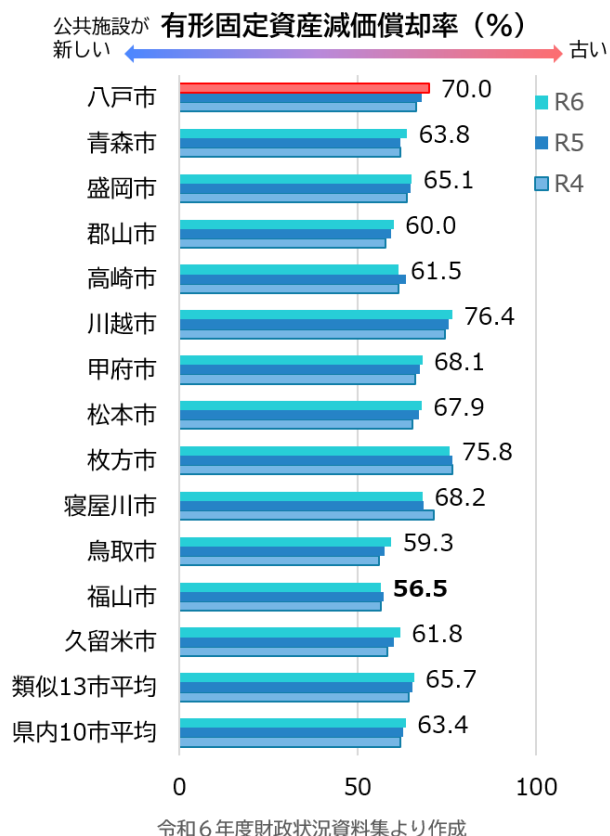


指標 5 有形固定資産減価償却率

【八戸市】 11 位 70.0% (前年度:10 位 67.9%)

(1 位 福山市 56.5%) 公共施設が新しい

(13 位 川越市 76.4%) 公共施設が古い



3 令和7年度における取組に対する自己評価

令和7年度の実施計画により得られた効果・成果等や、検討・準備作業の内容（質）に対する自己評価は次のとおりです。

改革3本柱	取組数	進捗状況				
		◎	○	△	×	—
柱1 組織運営の最適化と人材育成の推進	49	2	41	6	0	0
柱2 時代の変化に対応した効果的で効率的な行政運営	60	9	42	7	1	1
柱3 経営感覚を持った持続可能な財政運営	26	2	20	4	0	0
計	135	13	103	17	1	1
構成比	—	9.7%	76.3%	12.6%	0.7%	0.7%

- ◎：計画を上回って進み、想定以上の実施効果・成果が得られた又は、
想定以上の内容で検討・準備作業が行われた
○：計画どおり進み、概ね想定どおりの実施効果・成果が得られた又は、
概ね想定どおりの内容で検討・準備作業が行われた
△：一部の取組が遅れ、想定どおりの実施効果・成果が得られなかった又は、
想定どおりに検討・準備作業が行われなかった（着手はしているが、検討結果が得られなかった等）
×：全体的に取組が遅れ、想定どおりの実施効果・成果が得られなかった又は未実施
—：評価対象外（当該年度における実施計画がなく、取組実績もないもの）

ポイント

- ✓ 取組に対する自己評価は、想定どおり又は想定以上の成果等が得られた取組（◎・○）の割合が86.0%、想定どおりの成果等が得られなかった又は実施できなかった取組（△・×）の割合が13.3%となり、全体として概ね想定どおりの成果等が得られたものと言えます。
- ✓ なお、想定どおりの成果等が得られなかった又は実施できなかった取組については、その多くが着手しているものの計画どおりに進まなかったものであり、令和8年度に取組の進展が見込まれることから、全体としては概ね計画どおりに進捗していると言えます。

4 推進期間全体における各取組の実績（令和7年度～令和8年度）

取組数	R7	R8	R9	R10	R11
継続	131	122	—	—	—
追加	4	8	—	—	—
当該年度取組数	135	130	—	—	—
うち完了	10	—	—	—	—
取りやめ	3	—	—	—	—

5 結果の公表

市ホームページ及び市政情報コーナーで公表

委託先システムへの第三者による不正アクセスについて

1 概要及び経緯

10月14日に当消防本部が業務委託している株式会社アルカディアの運営・管理するシステムにおいて、第三者による不正アクセスが確認されたとの情報を報道で確認したもので、同日15時発表の同社ホームページに、当消防本部が利用しているサービス「NET119」及び「119RAIDEN」の個人情報が漏えいの可能性がある」と公表があったもの

2 当消防本部が利用している漏えいの可能性のあるサービス

(1) NET119

音声による119番通報が困難な方のためのシステムで、スマートフォン等を使用してWeb上で119番通報を行うもの（登録者63名）

(2) 119RAIDEN

消防職員向けの災害情報等の配信、八戸市消防団員向けの事務連絡等の配信に利用しているもの（登録者：消防職・団員約1200名）

3 漏えいの可能性がある個人情報の項目

(1) NET119

登録者の氏名、生年月日、性別、住所、メールアドレス、電話・FAX番号、障がいの内容

(2) 119RAIDEN

登録者の氏名、メールアドレス、電話・FAX番号

4 消防本部の対応状況

10月14日	全ての登録者へ個人情報漏えいの可能性がある旨を周知するとともに、不信メール等への注意喚起を実施
	報道機関にプレスリリースを実施
10月15日	消防本部庁舎において報道記者発表を実施
	当消防本部ホームページに注意喚起を掲載
10月16日	10月15日17時50分更新のアルカディア社ホームページ上での情報では、「当該システムは復旧完了し、情報漏えい範囲について調査中」とのこと。 消防本部の対応としては、次のとおり ① 消防本部のシステムログインのパスワード変更 ② 登録者への情報提供及び注意喚起の継続 ③ 同社へ早急に情報漏えい範囲と再発防止策の報告を求める